

プラットフォームサービスに係る利用者情報の取り扱い ワーキンググループ(第3回)ご説明資料

2021年4月22日
株式会社Agoop

本日のアジェンダ

1. Agoopについて
2. 利用者情報の取り扱いについて

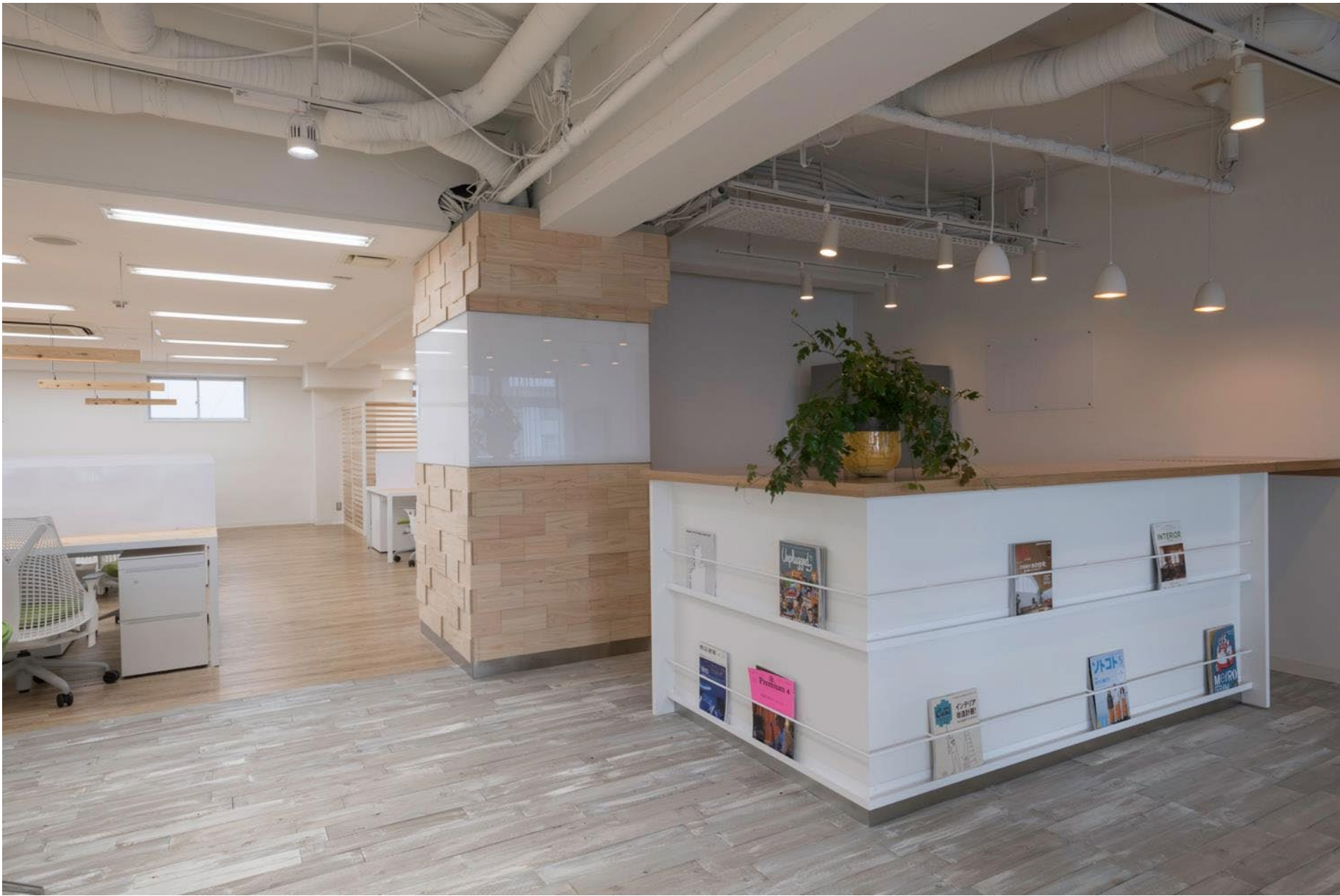
本日のアジェンダ

1. Agoopについて

2. 利用者情報の取り扱いについて

Agoop(アグープ)について

ビッグデータ収集やデータ解析・AI開発の専門企業



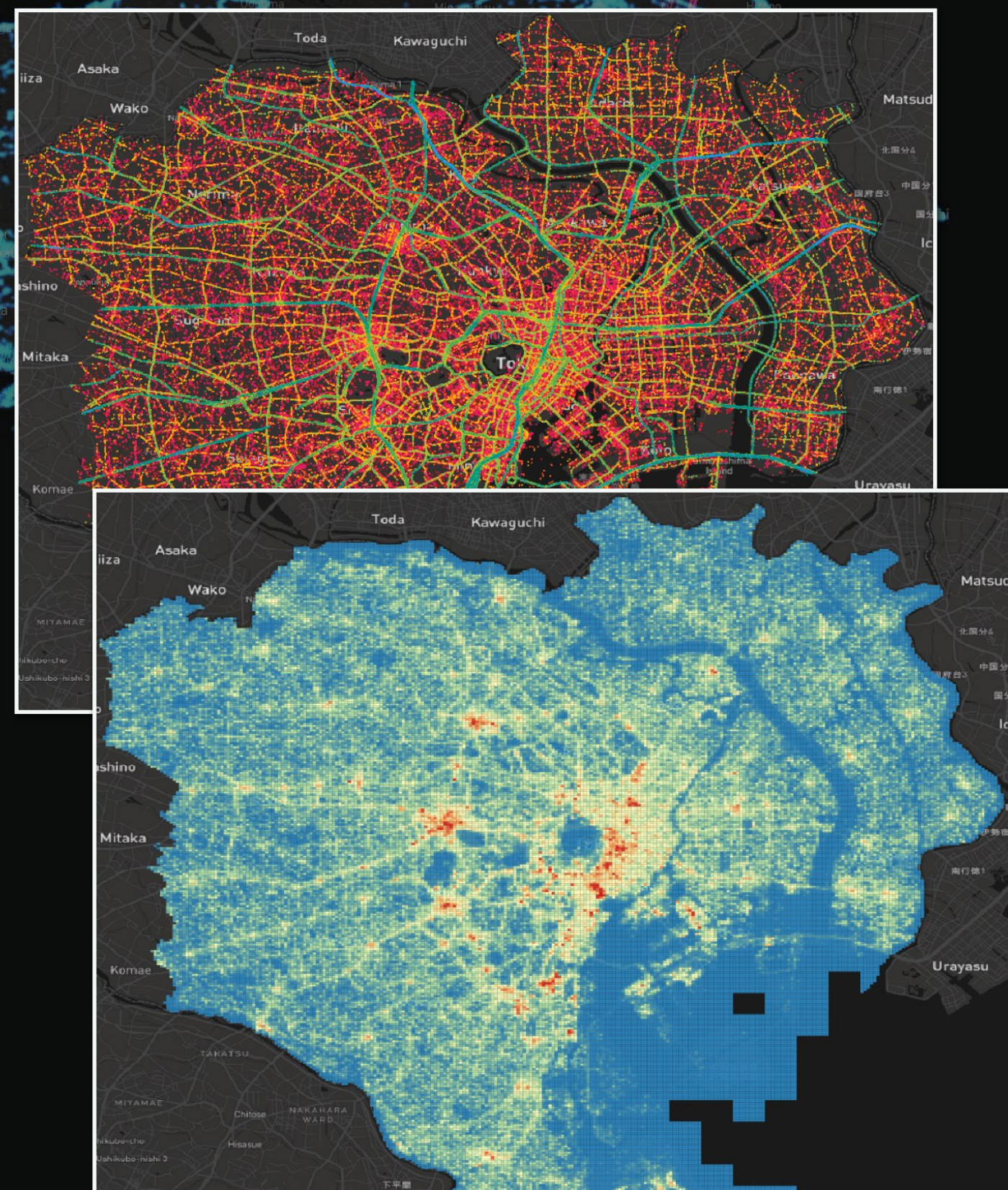
企業名	株式会社Agoop
設立時期	2009年4月
代表取締役	柴山 和久
株主	ソフトバンク株式会社(100%)
従業員数	51名
住所	東京都渋谷区神宮前3-35-8 ハニービル青山 6階
事業内容	位置情報ビッグデータ事業 ・位置情報ビッグデータ収集/解析 ・位置情報関連データ販売 ・位置情報サービスアプリ提供

※2021年4月1日現在

位置情報連携 アプリケーション

ビッグデータ解析

流動人口データ



取得している情報について



位置情報

- ・スマートフォンの位置情報のみ
- ・マルチキャリアでの収集

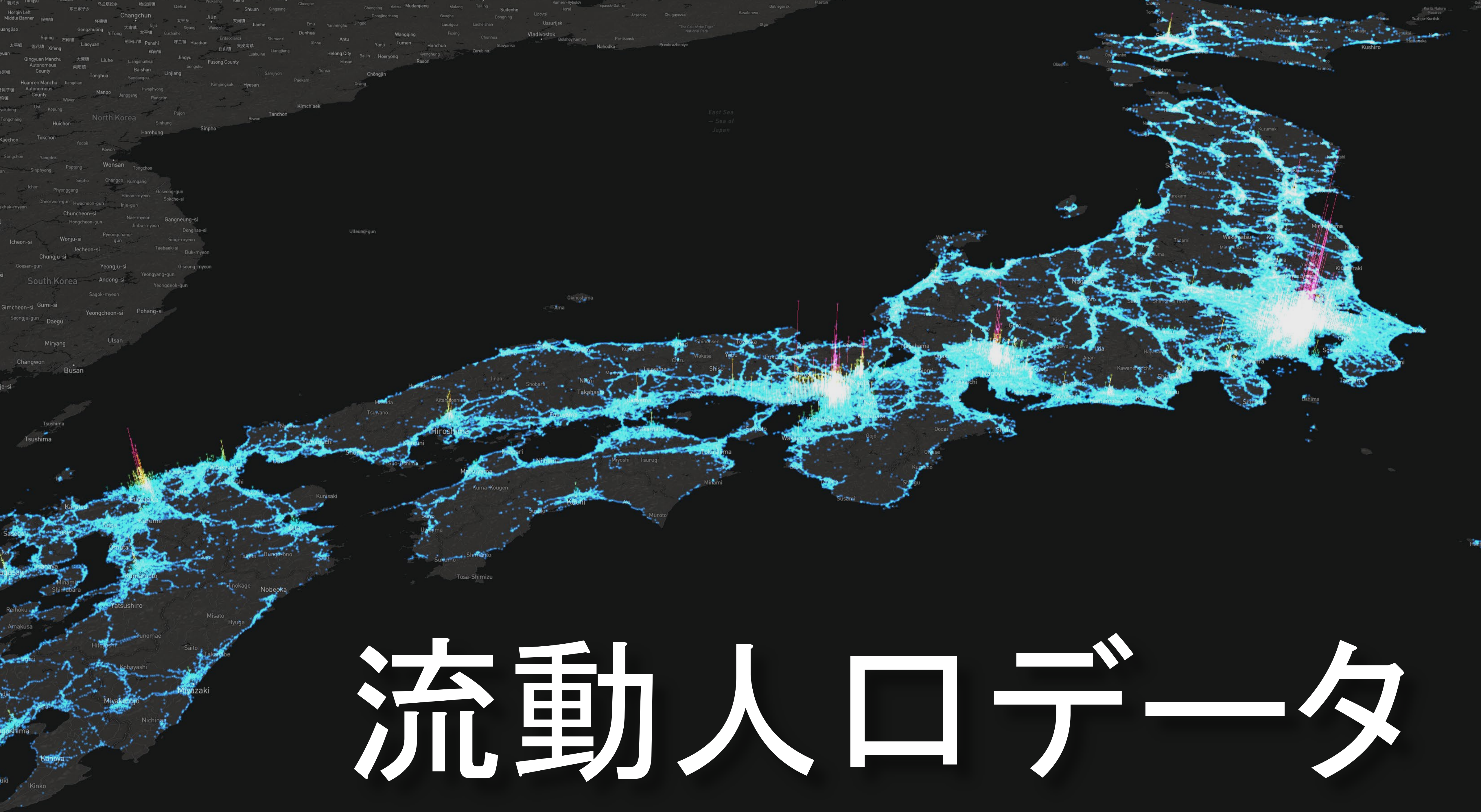


アプリ利用情報



アンケート情報

Agoopでは、**直接的な個人情報**(氏名、住所、電話番号)は収集しておらず、**広告ID**も収集しておりません。
位置情報に関しては「**個人情報相当**」と定義し社内で**厳密に**管理しております。



流動人口データについて

ポイント型 流動人口データ

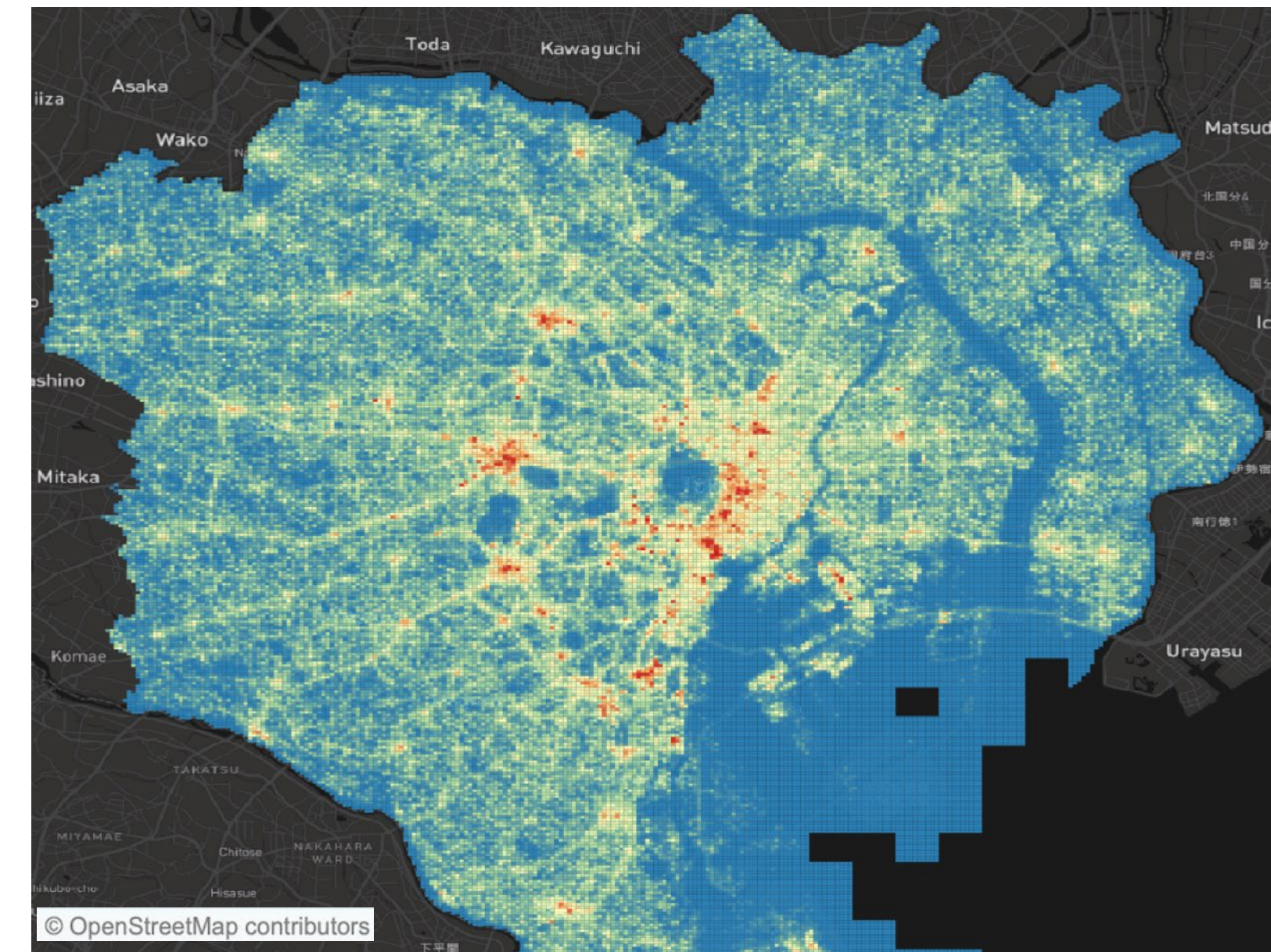
GPS位置情報を基に
人の流れや速度を点で可視化



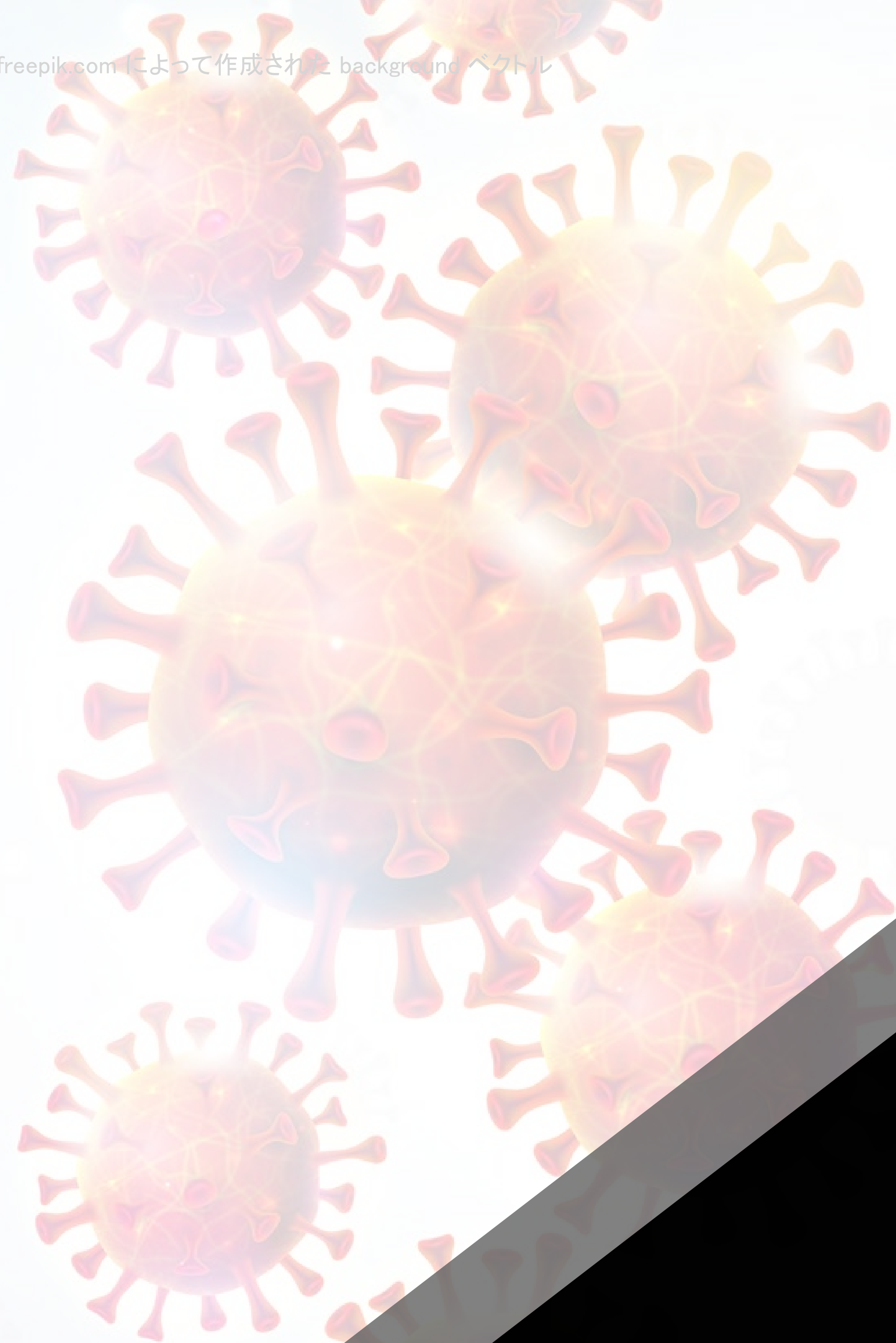
- ☑ 人の流れを「点」の状態で見えやすく把握
- ☑ 全世界・マルチキャリアの位置情報を収集可能

メッシュ型 流動人口データ

GPS位置情報を基に
人口をメッシュごとに統計化



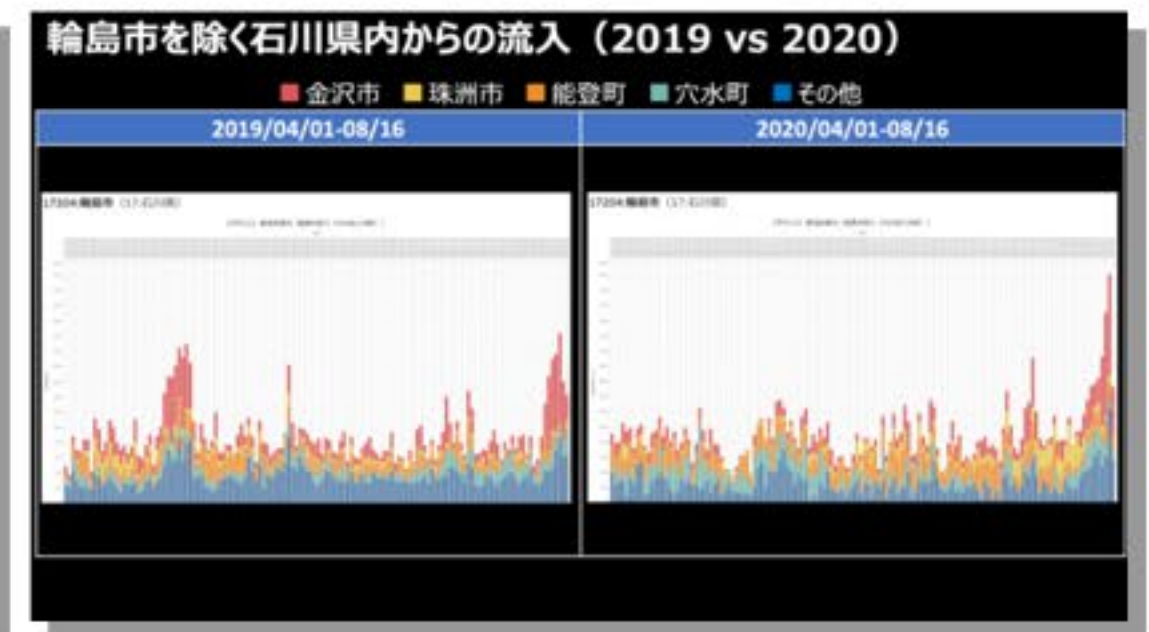
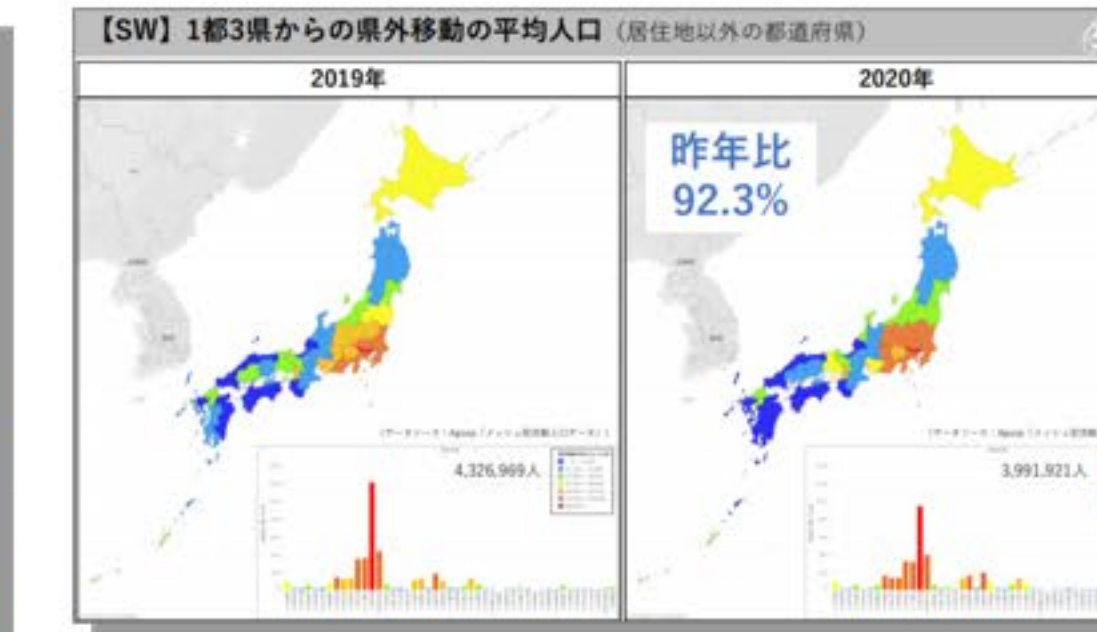
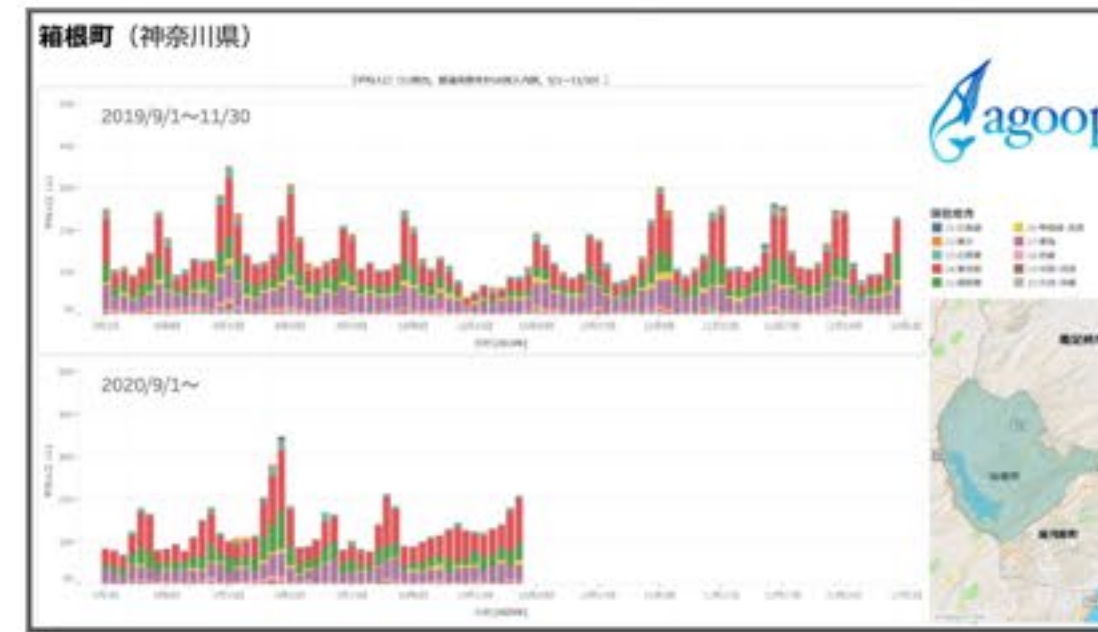
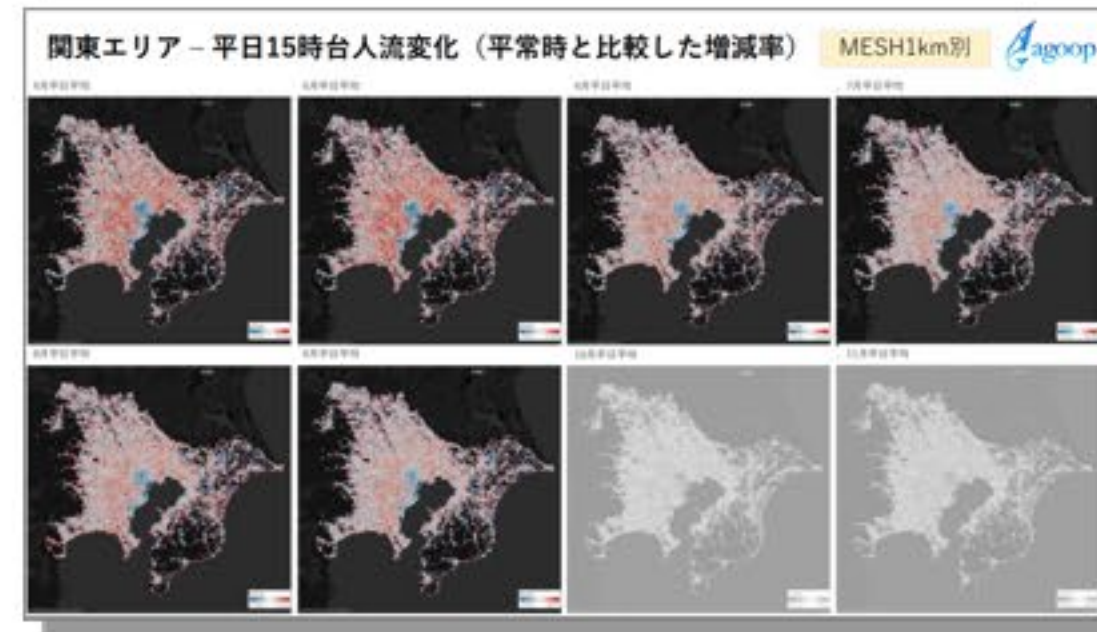
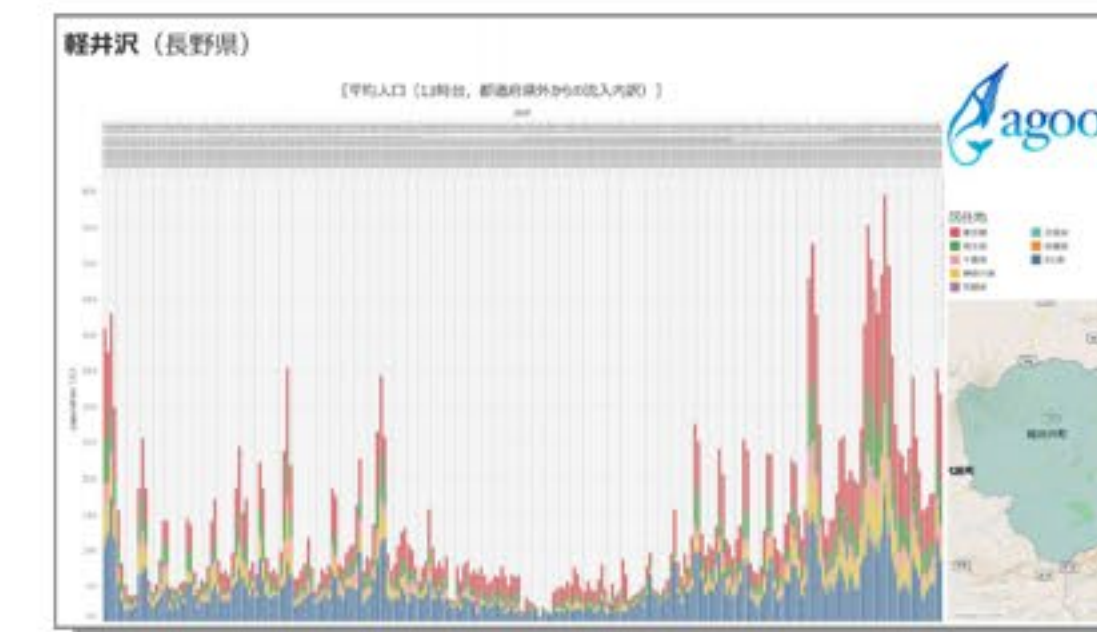
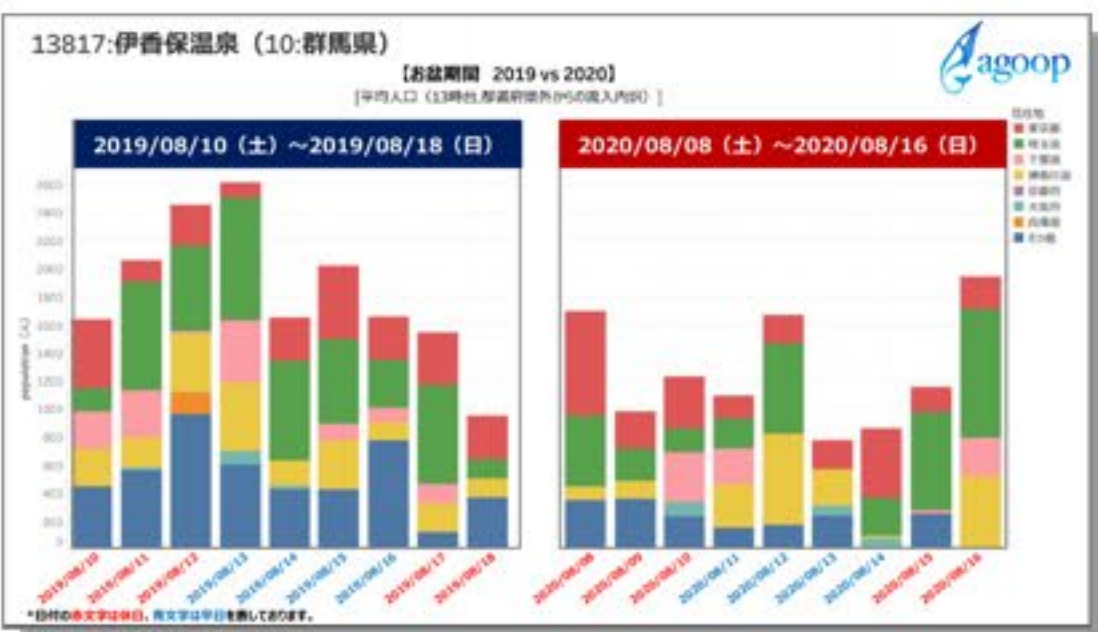
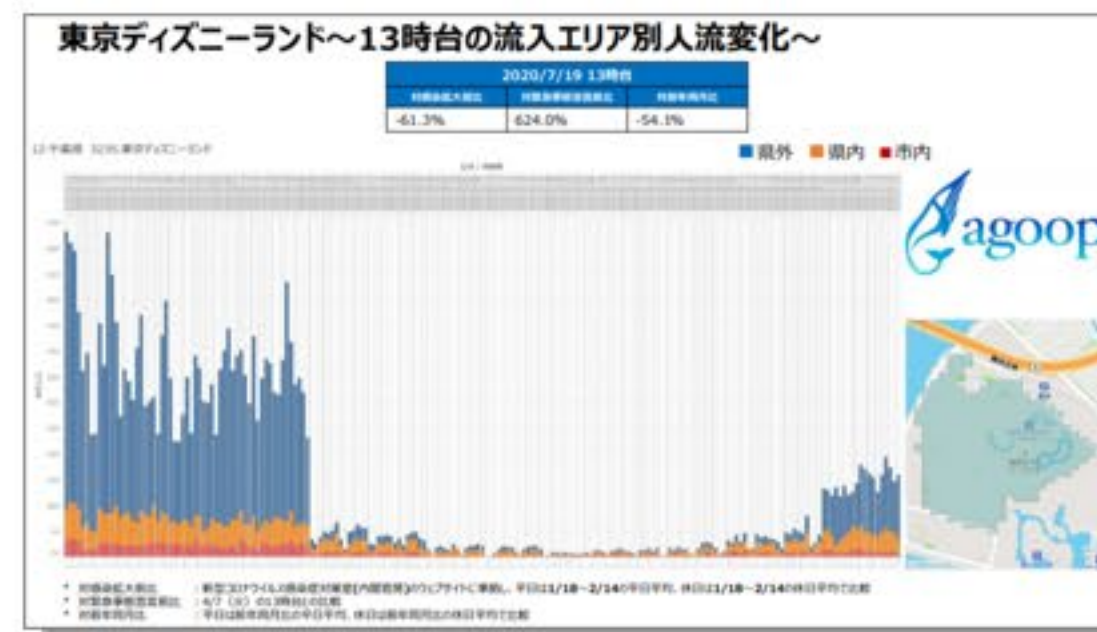
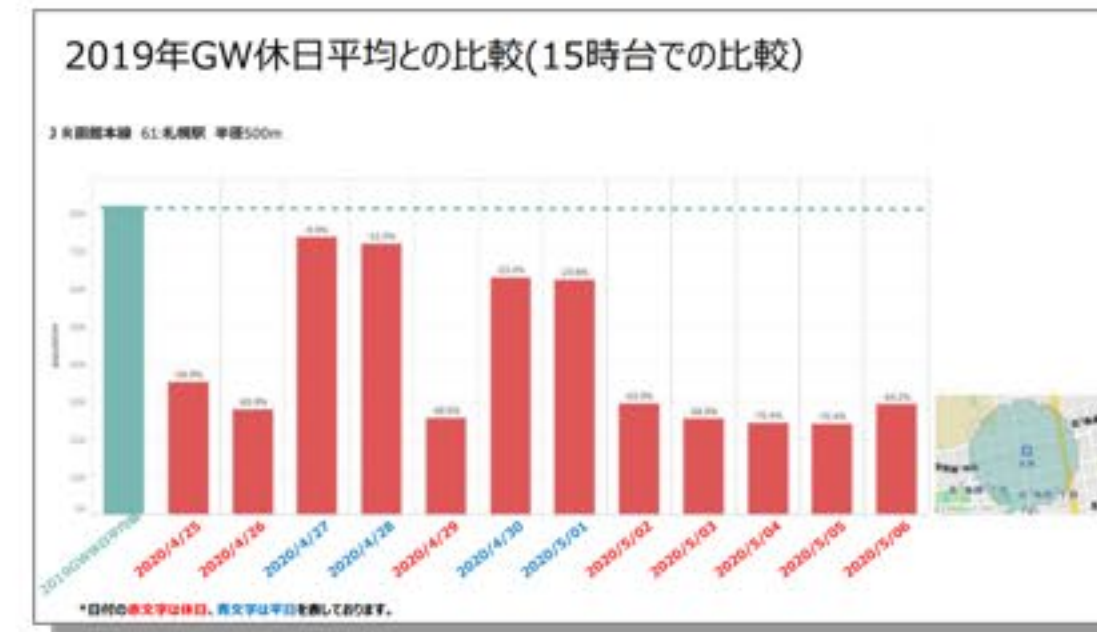
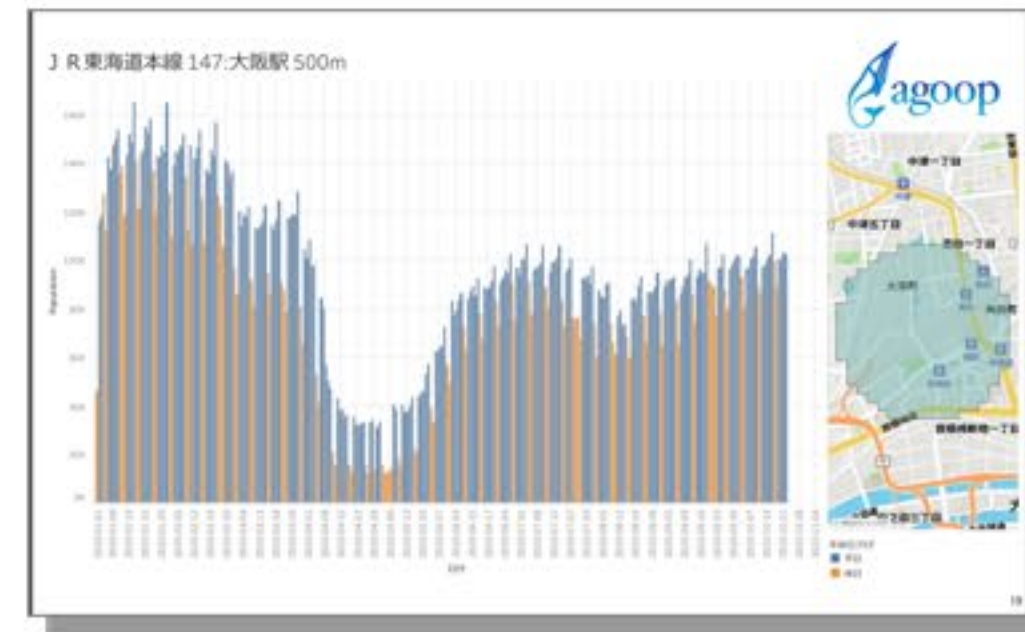
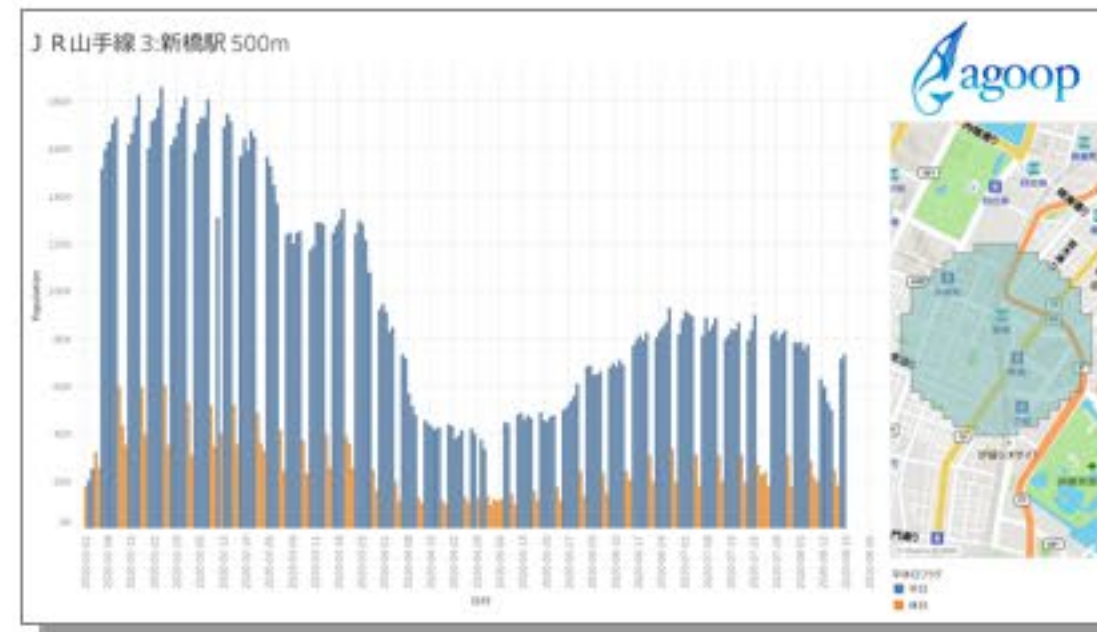
- ☑ 日本の総人口規模に換算
- ☑ 50m・100m・500m・1kmメッシュを提供



COVID-19

各報道機関・メディアへレポートやデータ提供中

1,000回以上メディアで活用



政府機関へレポートやデータ提供中

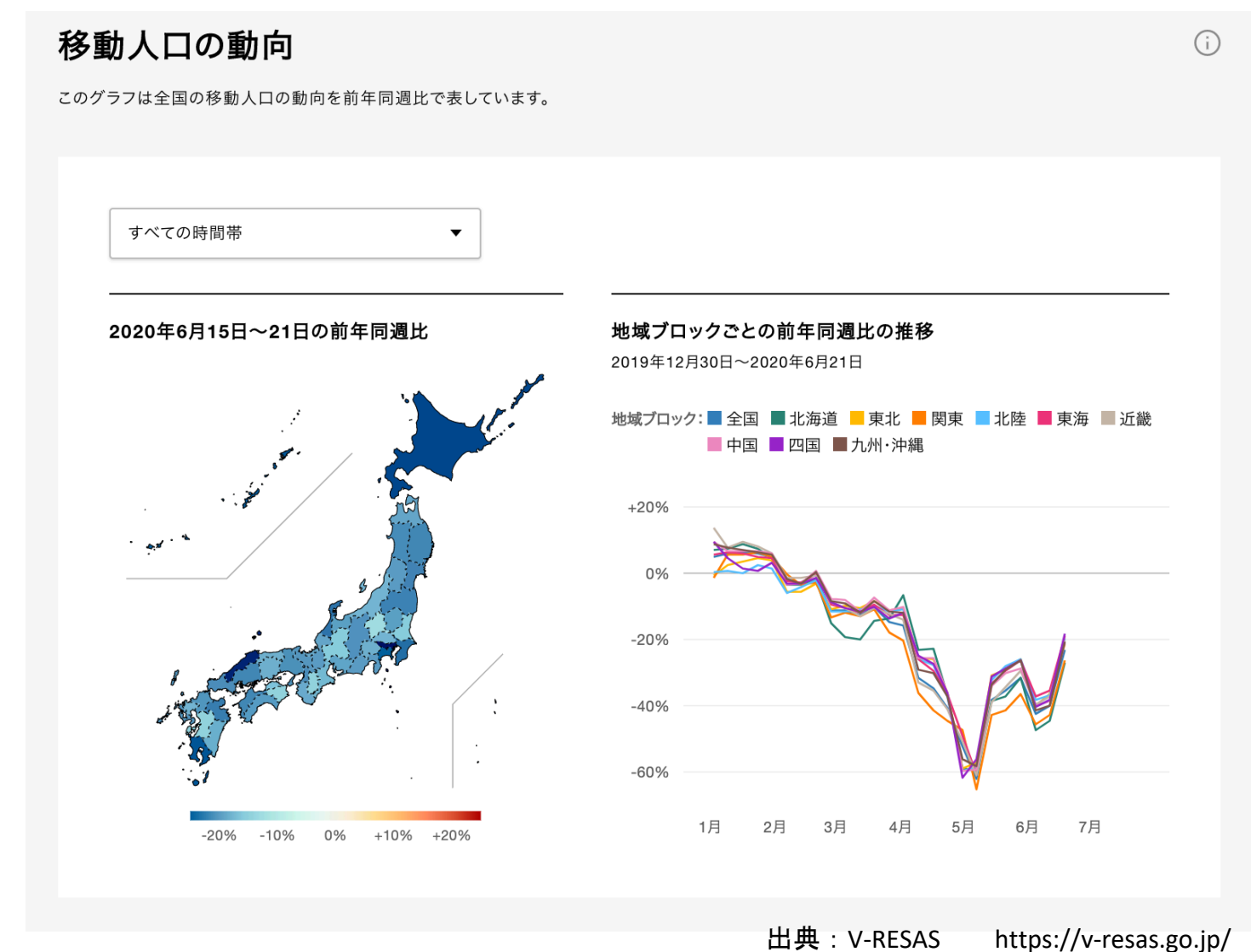
内閣官房 コロナサイト



全国46エリアを公開中

感染症拡大の防止

内閣府 「V-RESAS」



地域経済の活性化支援



東京都

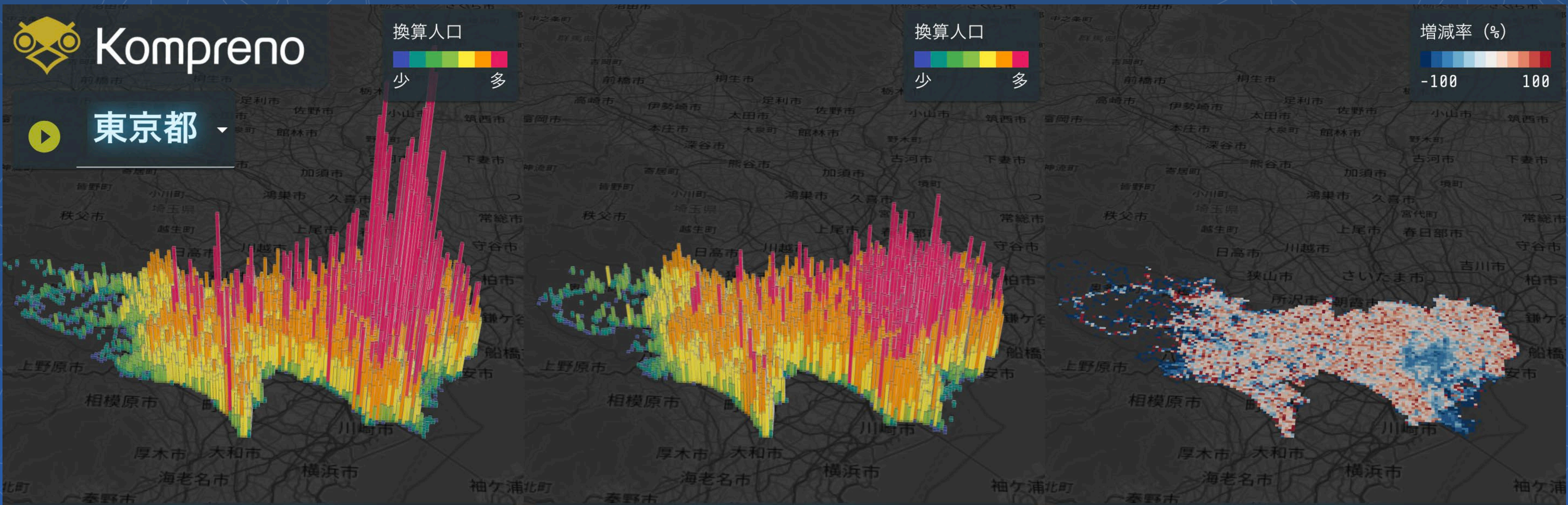
換算人口



換算人口



増減率 (%)



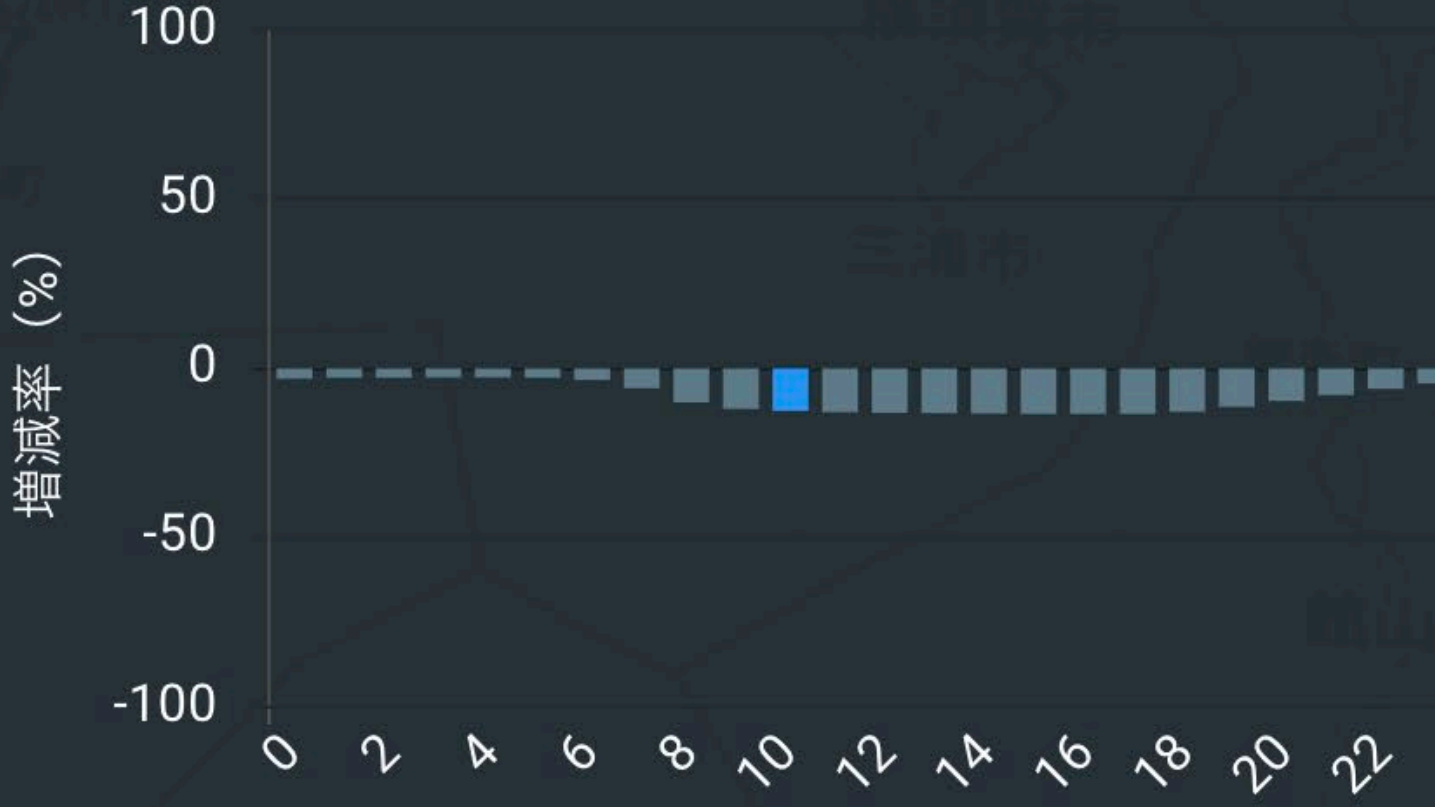
2019-04 10時台



2020-04 10時台



Diff. 10時台

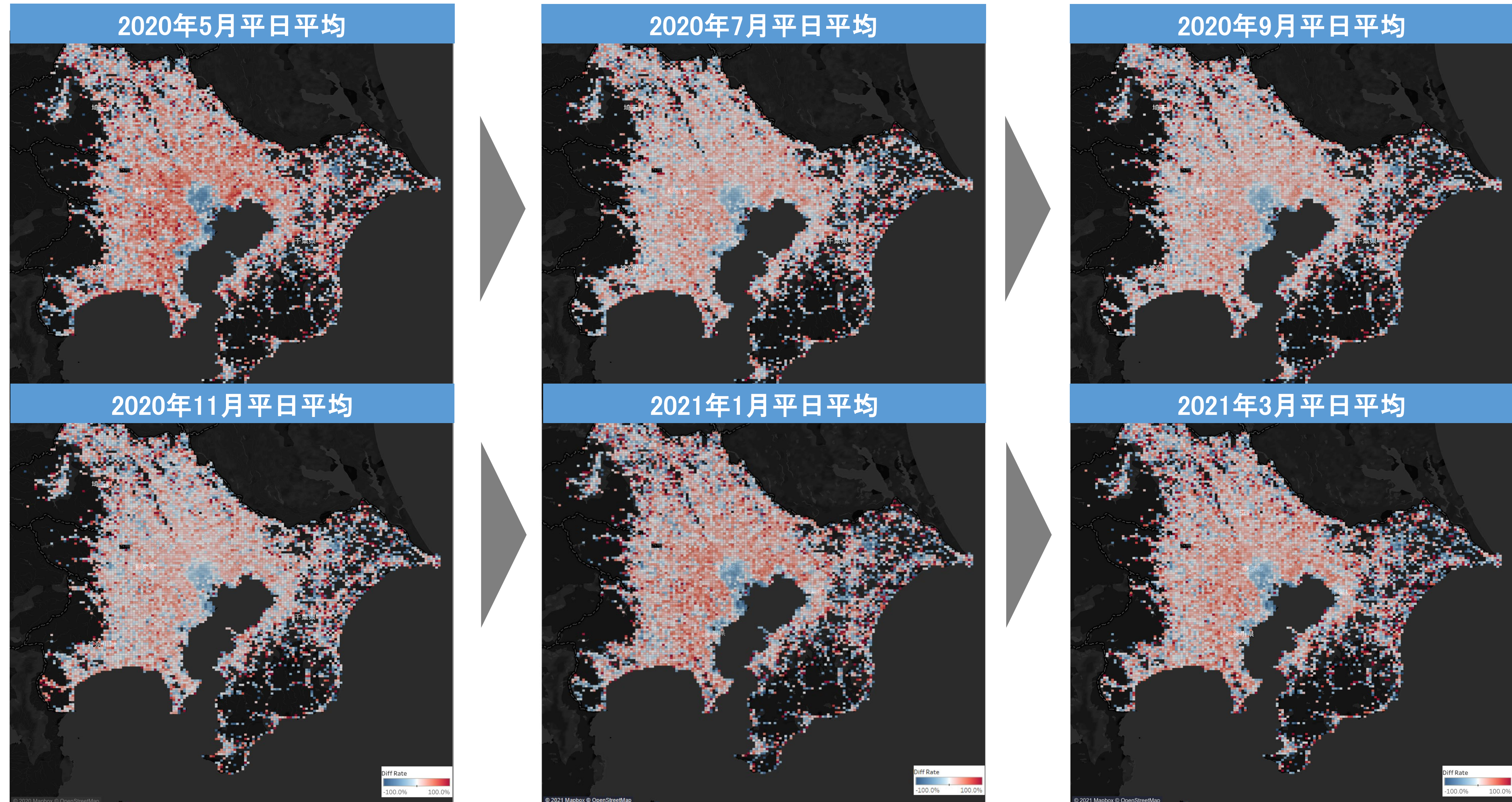


ビジネス街の人口減少・
住宅街の人口増加が発生

職場および生活環境の変化

ニューノーマル時代の到来

ビジネス街・大規模商業エリアの首都中心部での人口減少、 郊外の住宅エリアの人口増加が続いている



関東エリア 月別の平日15時台人流変化（増減量比較）

※基準値：2020/01/14～2020/02/14の15時台の平日平均、※基準時におけるMESH内の平均人口が100人未満の場合は非表示にしています。

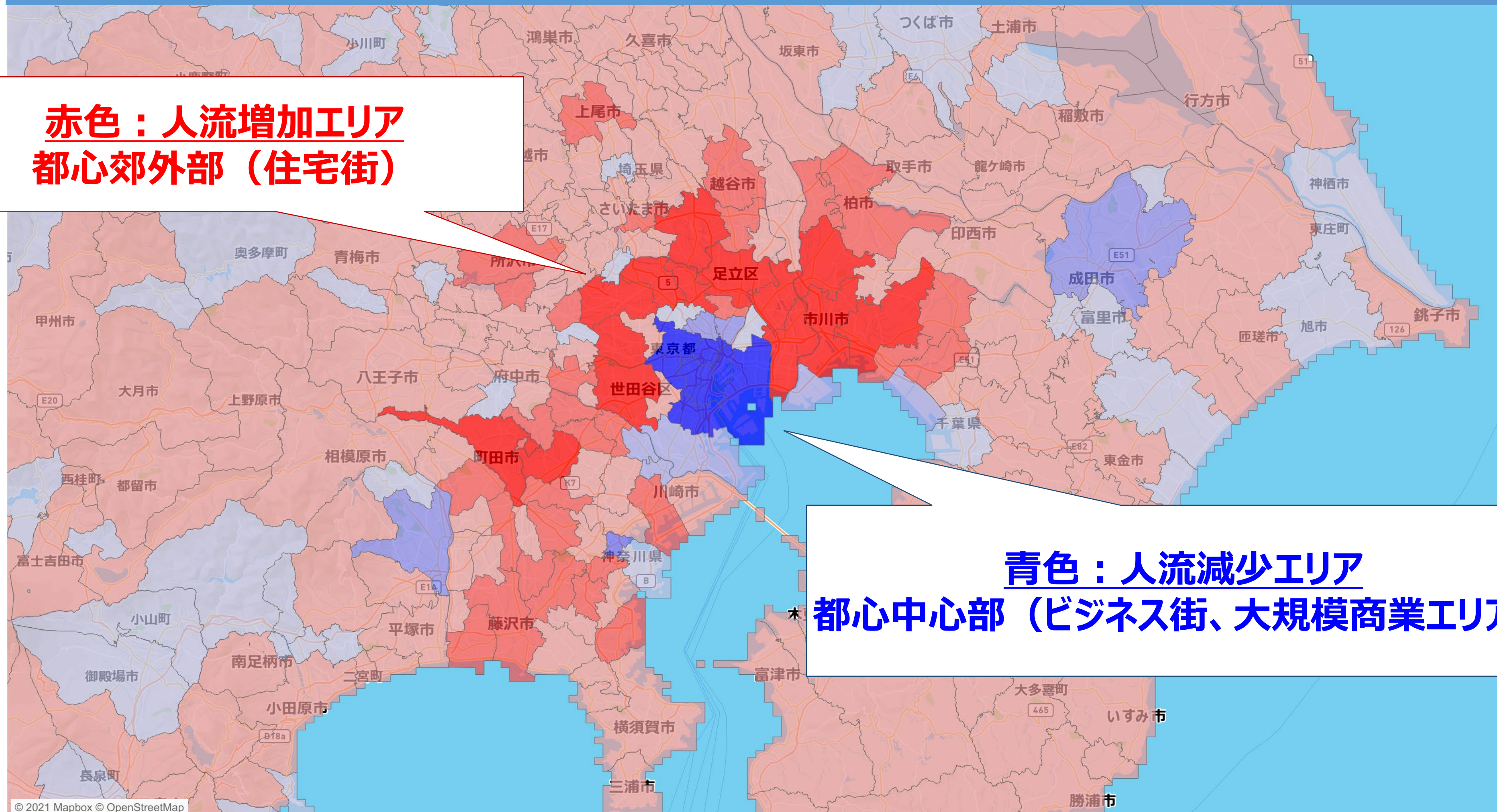
ビジネス街エリアは大幅に人口減少して青色、 住宅エリアは大幅に人口増加して赤色

人流増減マップ^o (2019 vs 2020)

Diff Avg
-117K +50,000人/日

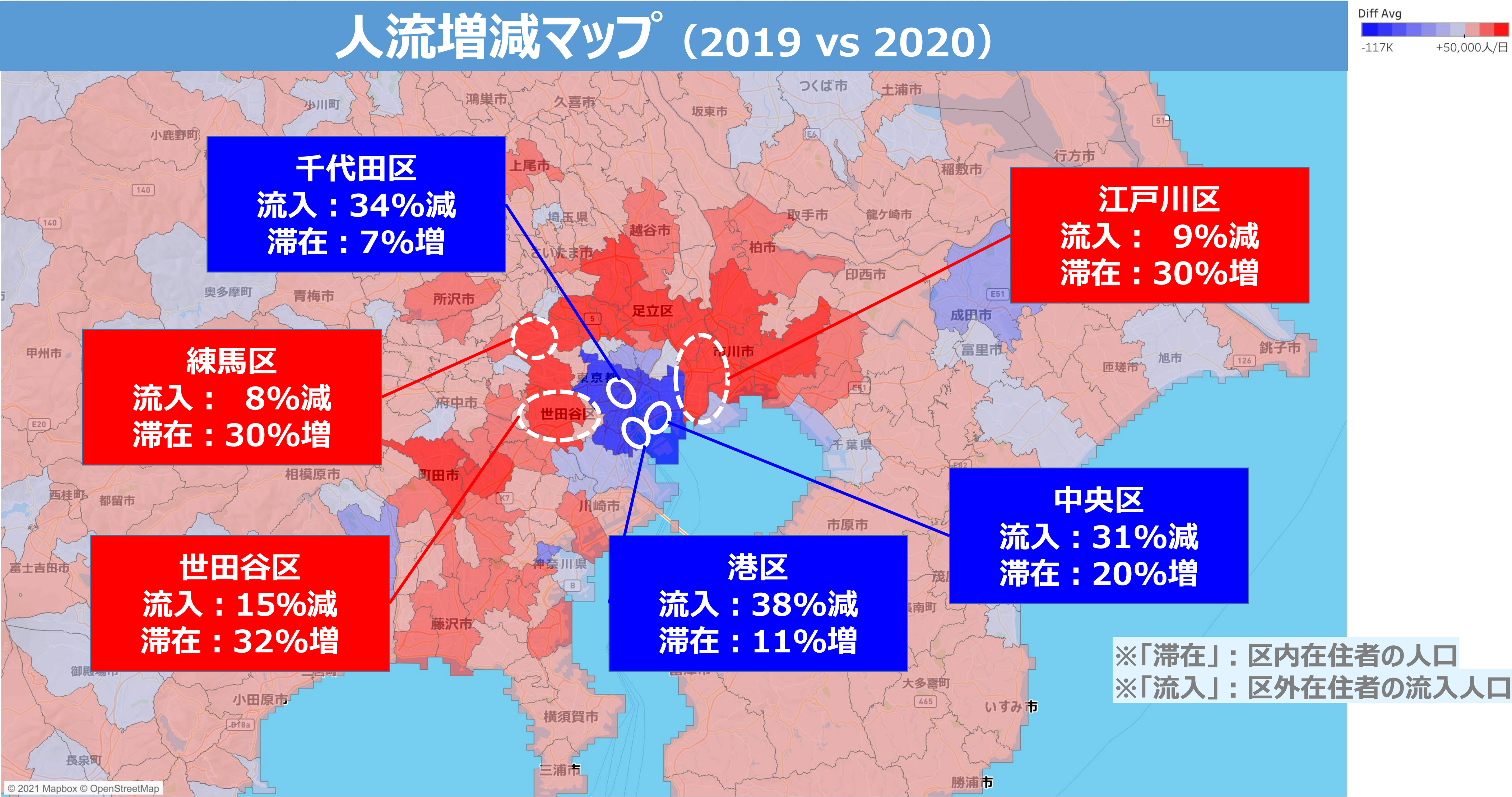
赤色：人流増加エリア
都心郊外部（住宅街）

青色：人流減少エリア
都心中心部（ビジネス街、大規模商業エリア）



関東エリア 10月～12月の平日12時台人流変化（増減量比較）
※基準値：2019/10/01～12/31の12時台の平日平均

新型コロナの影響によりリモートワークが定着し人口推移が大きく変動



関東エリア:10月～12月の平日12時台人流変化（増減量比較）／※基準値：2019/10/01～12/31の12時台の平日平均

本日のアジェンダ

1. Agoopについて

2. 利用者情報の取り扱いについて

デバイスロケーションデータ収集・分析の目的

Agoopでは、デバイスロケーションデータの収集・分析・提供を通じて、個人のライフスタイルに合った情報配信や、街づくりや防災への活用を推進しています。

例えば、収集したデバイスロケーションデータを統計分析することで、災害発生時の街の状況を迅速に把握することによる災害時の対策の迅速化、各地域における人の密集度を把握することでの新規店舗出店時の効果的な選定、などを導き出すことができます。また、このデバイスロケーションデータを自社のみで活用するのではなく、安全に加工した形で学術機関やアライアンス企業に提供することで、社会や生活がより良くなるためのしかけ作りに貢献していきます。



国や自治体の政策の参考となる
統計データへの活用



減災など暮らしの安全を
向上させる目的での活用



新規出店分析

デバイスロケーションデータ
[LBMA定義]

スマートデバイスを通して取得される、個人(ユーザ)に関する情報のうち、
位置情報(緯度・経度・時間・精度)が含まれるもの

出典: AgoopHP (<https://www.agoop.co.jp/service/data-usage-policy/>)

位置情報データ収集に関するユーザーベネフィット

利用者からの新しいデータ収集を企画する際には、技術役員及びCISO同席のもと、利用者のプライバシーや取得用途、利用者の利便性などの観点から取得の妥当性についての議論、評価を実施しております。

PIAの実施 [PIA=リスク評価]

位置情報を利用する
必然性と利用者利益



利用者情報を扱うために留意していること

同意取得
+
秘匿化

社内ルール

監査体制

利用者情報を扱うために留意していること

同意取得
+
秘匿化

社内ルール

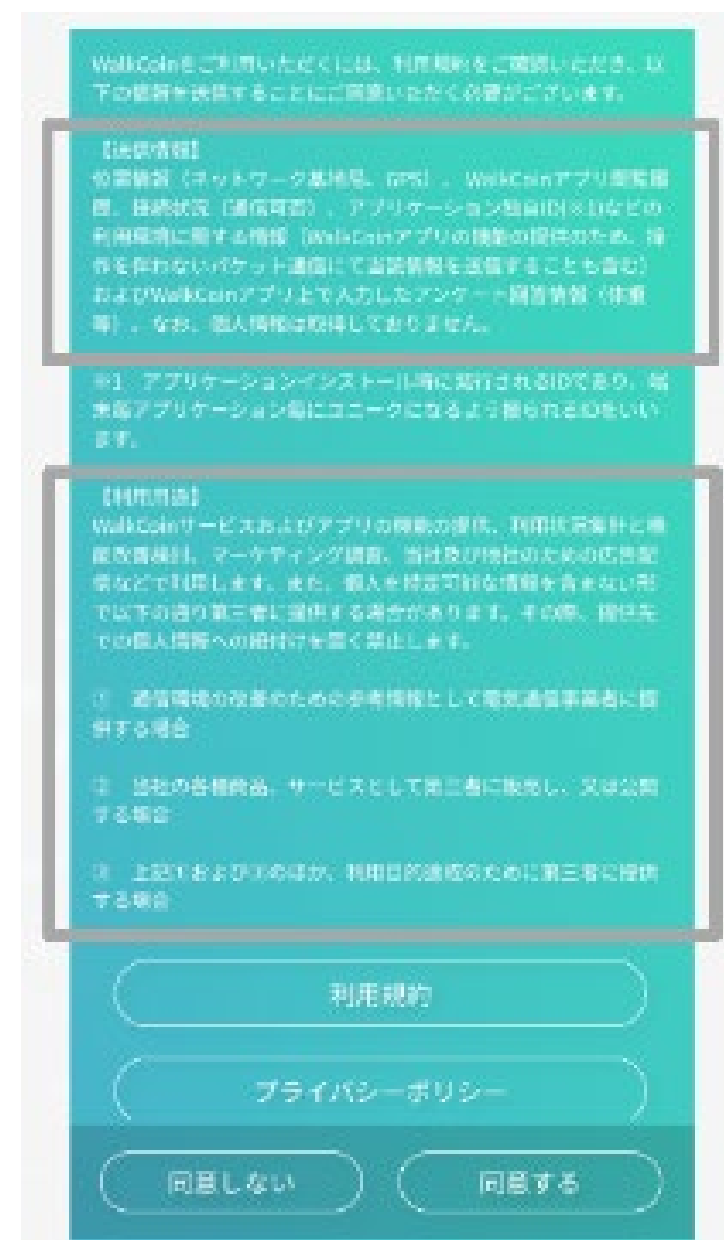
監査体制

利用者から個別同意の取得と個人の特定ができないように秘匿化

※位置情報ビッグデータはプライバシーに該当する情報と捉え、個人特定できない秘匿化処理を徹底

利用者から個別同意の取得

【例）弊社アプリ WalkCoin の同意画面】

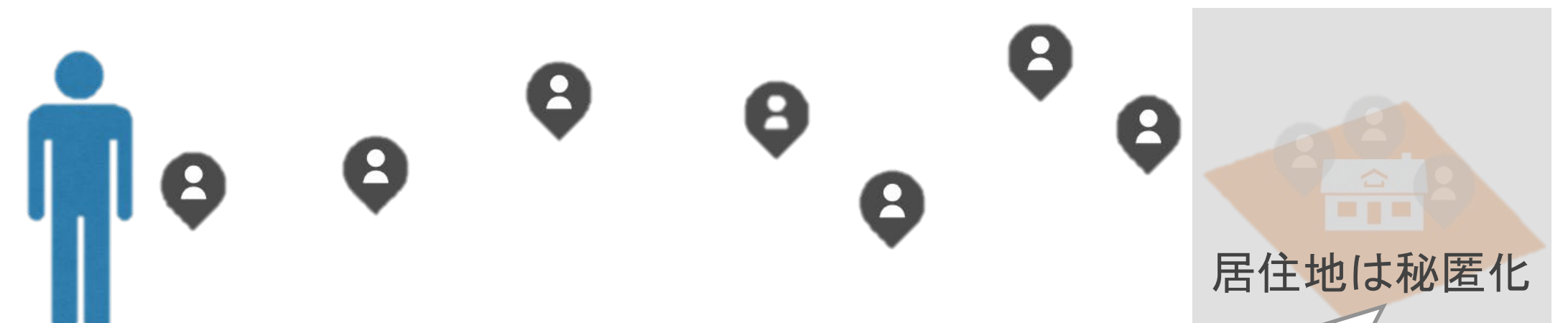


- 位置情報取得目的についての承諾
- 個人情報を取得していない旨の通知
- 第三者に対する情報提供について
- 提供先の第三者での個人情報への紐付けの禁止について

同意後にアプリは
利用可能になります

居住地の秘匿化処理

取得した位置情報は、
推定した居住地の位置を中心に
100mメッシュの位置情報ログを排除することで、
個人が特定できないように秘匿化を行っており、
個人情報保護を図っております。



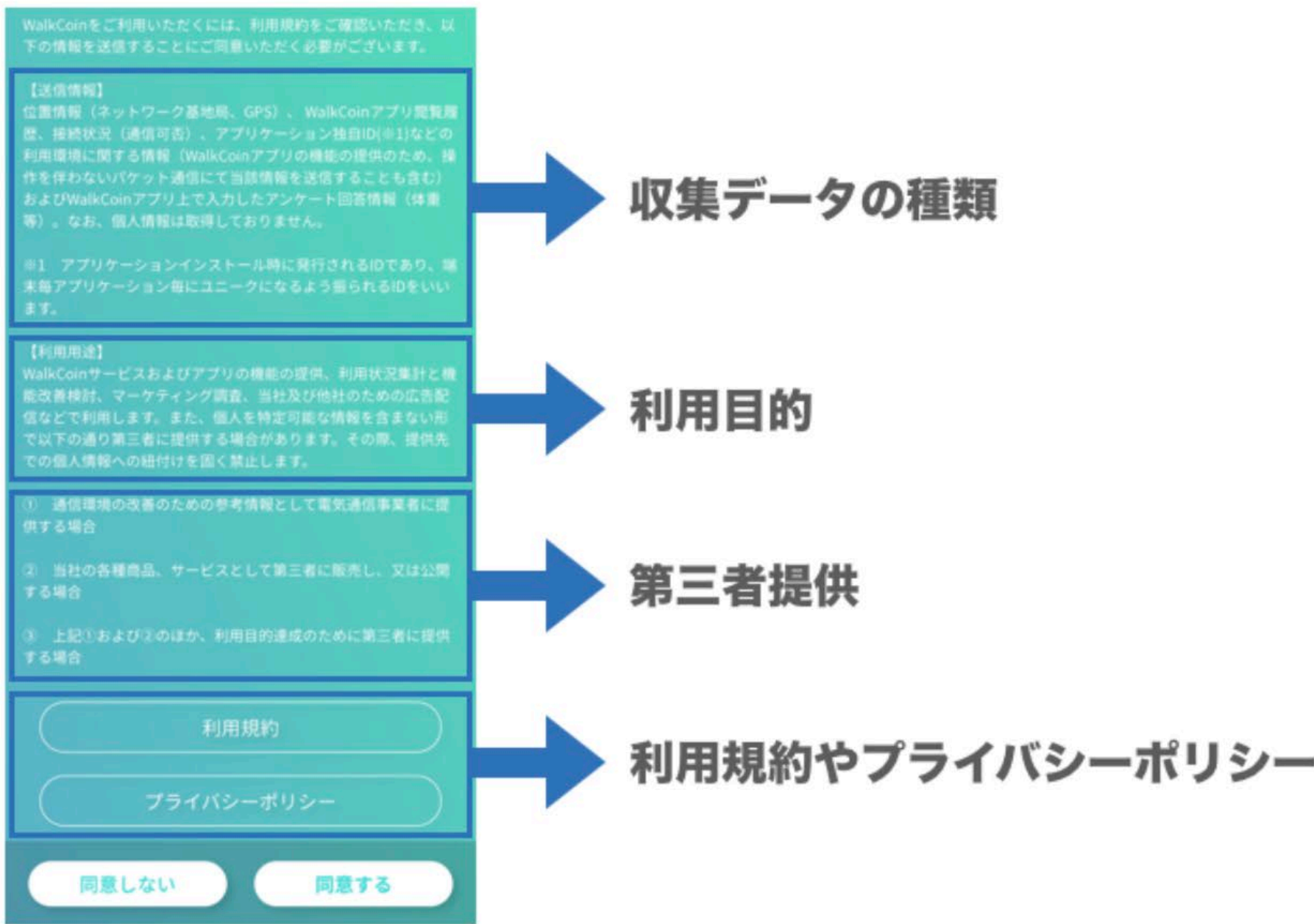
推定居住地の位置情報ログは排除

デバイスロケーションデータの収集方法と同意

Agoopでは、ユーザーの同意を得た上で、デバイスロケーションデータの収集、分析を行なっております。
AgoopのSDKを提携している、世界中の提供先企業でも利用規約やプライバシーポリシー等での同意を得たものを活用しております。

また、Agoopが収集しているデータには、氏名や住所、年齢といった個人情報はありません。

同意取得例（WalkCoinでの例）



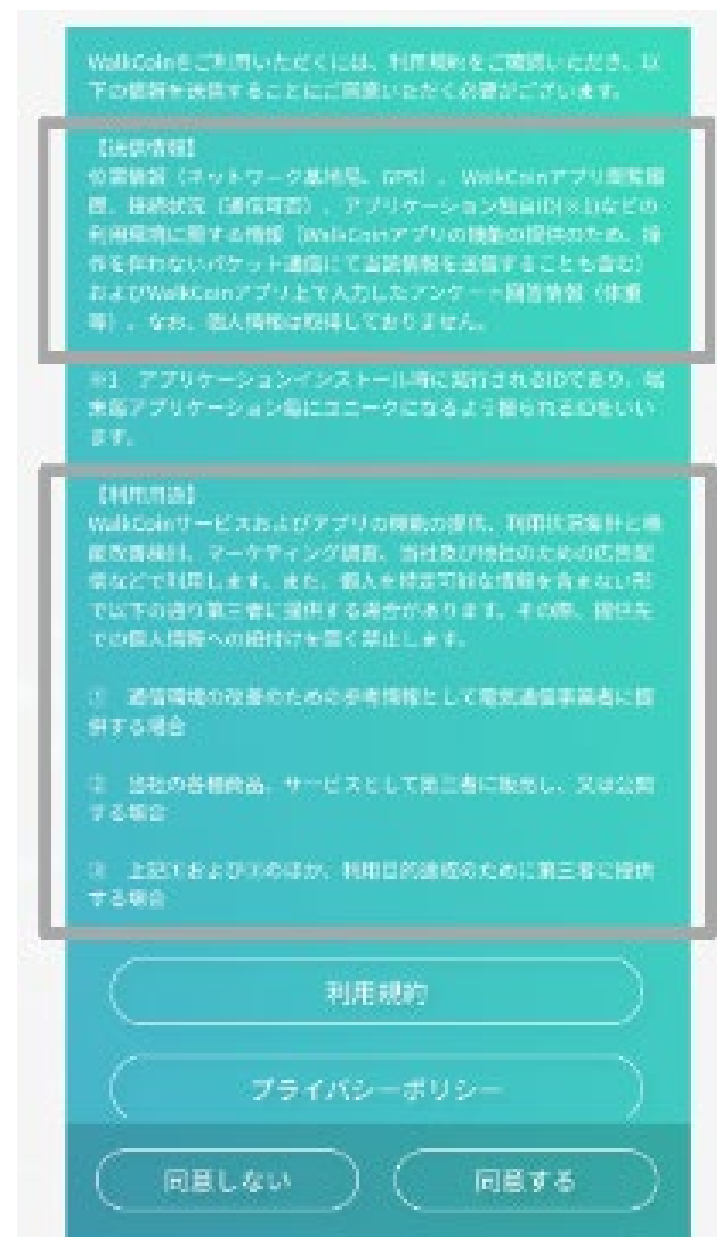
同意方法の 説明掲載

出典：AgoopHP (<https://www.agoop.co.jp/service/data-usage-policy/>)

OSでの位置情報許可

同意後もOSの位置情報利用パーミッションを得る必要があるため
確実なユーザー認知状態を確保

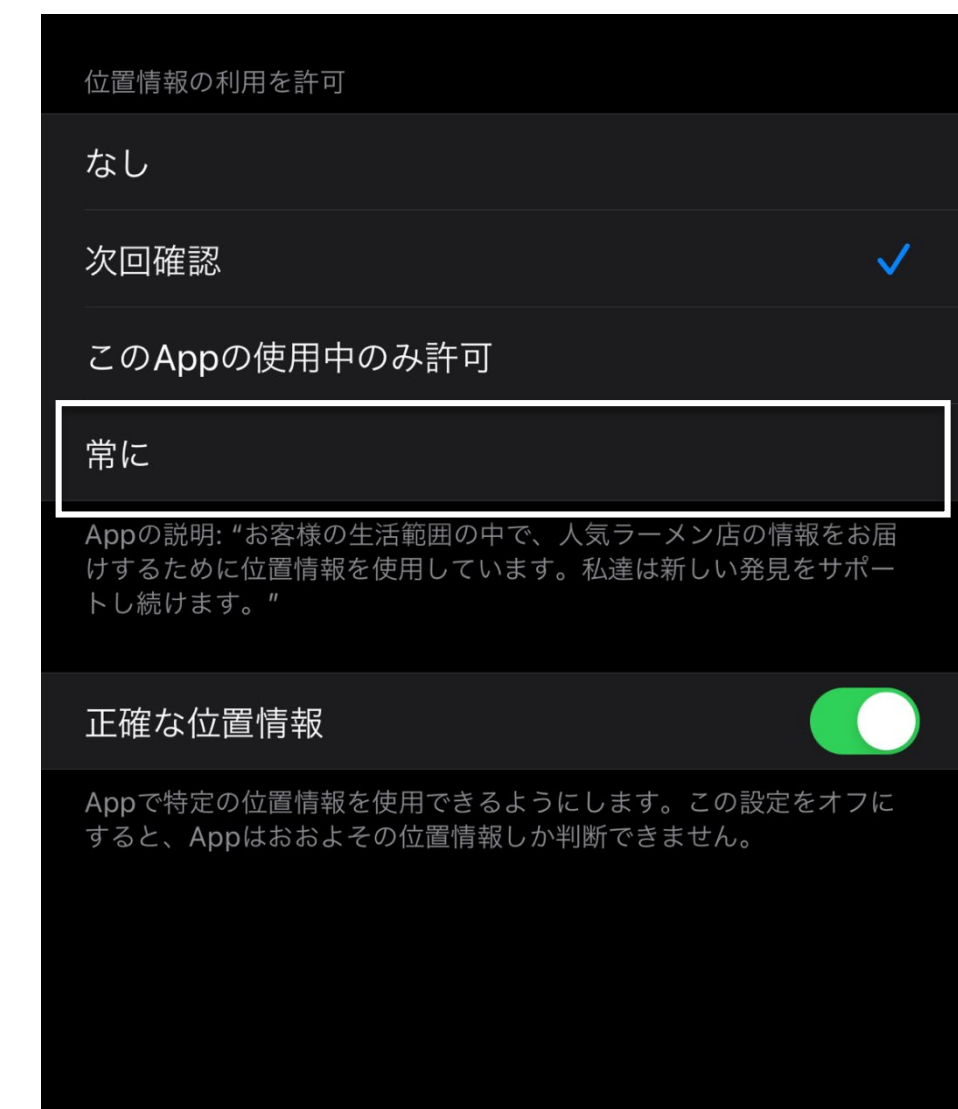
同意



初回起動時

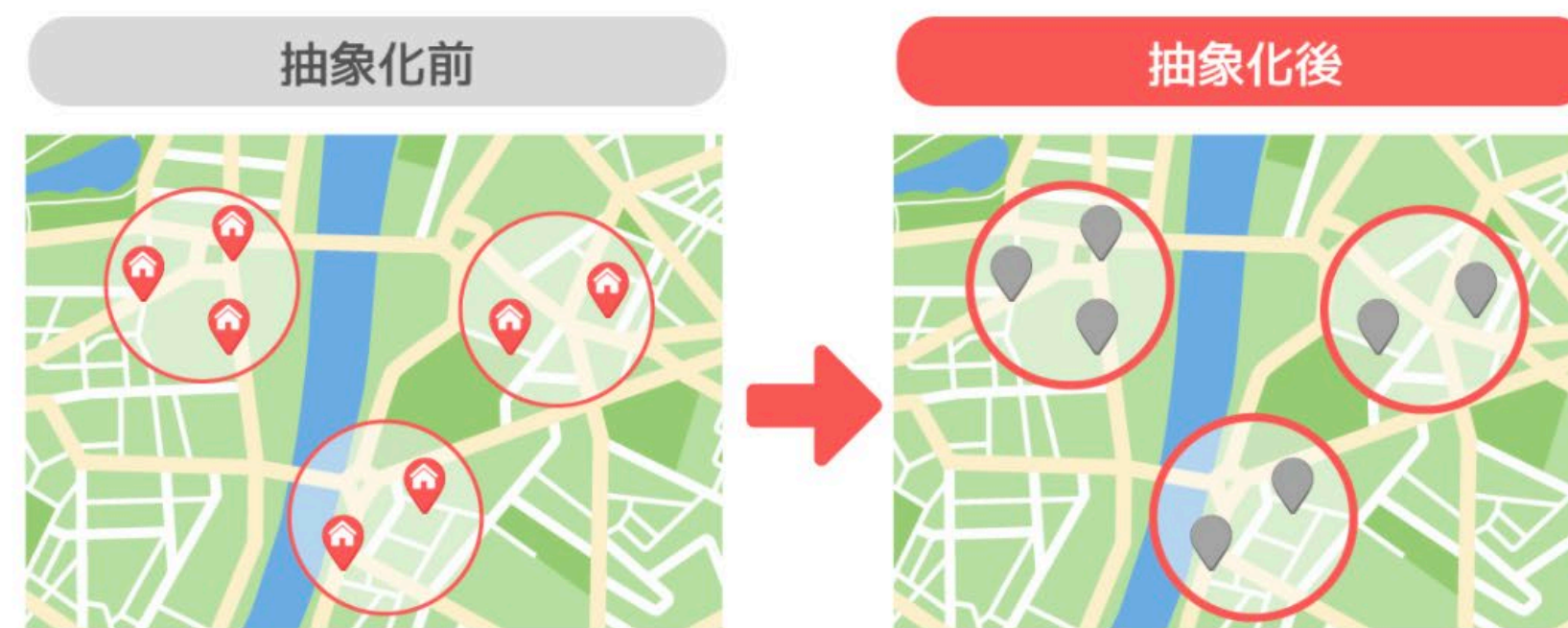


設定変更



デバイスロケーションデータの秘匿化処理

デバイスロケーションデータの活用・提供にあたり、位置情報に関しては日をまたいで連続する情報の積み上げによって個人を特定できる可能性が高まるリスクを避けるため、下記のような秘匿化処理を行っております。



秘匿化の説明 (安全安心)



個人が特定できない 形に加工

出典: AgoopHP (<https://www.agoop.co.jp/service/data-usage-policy/>)

デバイスロケーションデータ収集の停止方法について

お使いのデバイスから、デバイスロケーションデータの送出を停止するには、以下の手順にて操作をお願いします。

※アプリによっては、一部機能が利用できなくなる可能性があります。
※操作方法は、各OSの提供企業によって変更となる場合がございます

iOS



※ iOS 13.3.1の場合

収集停止の 情報提供

LBMAの初期メンバー [ガイドライン委員]



法律と心情の両面を考慮

企業が位置情報等のデータを正しく大切に扱い、
誰もが安心できる形で有効な利活用がされるよう、
加盟企業が遵守するルールを「共通ガイドライン」化



<https://www.lbmajapan.com/guideline>



ガイドライン展開

同意のとり方やデータの利活用に関する
ルールを策定、会員は遵守必須

定期的な監査

LBMAによる定期的なガイドラインの
遵守状況のチェック

利用者情報を扱うために留意していること

同意取得
+
秘匿化

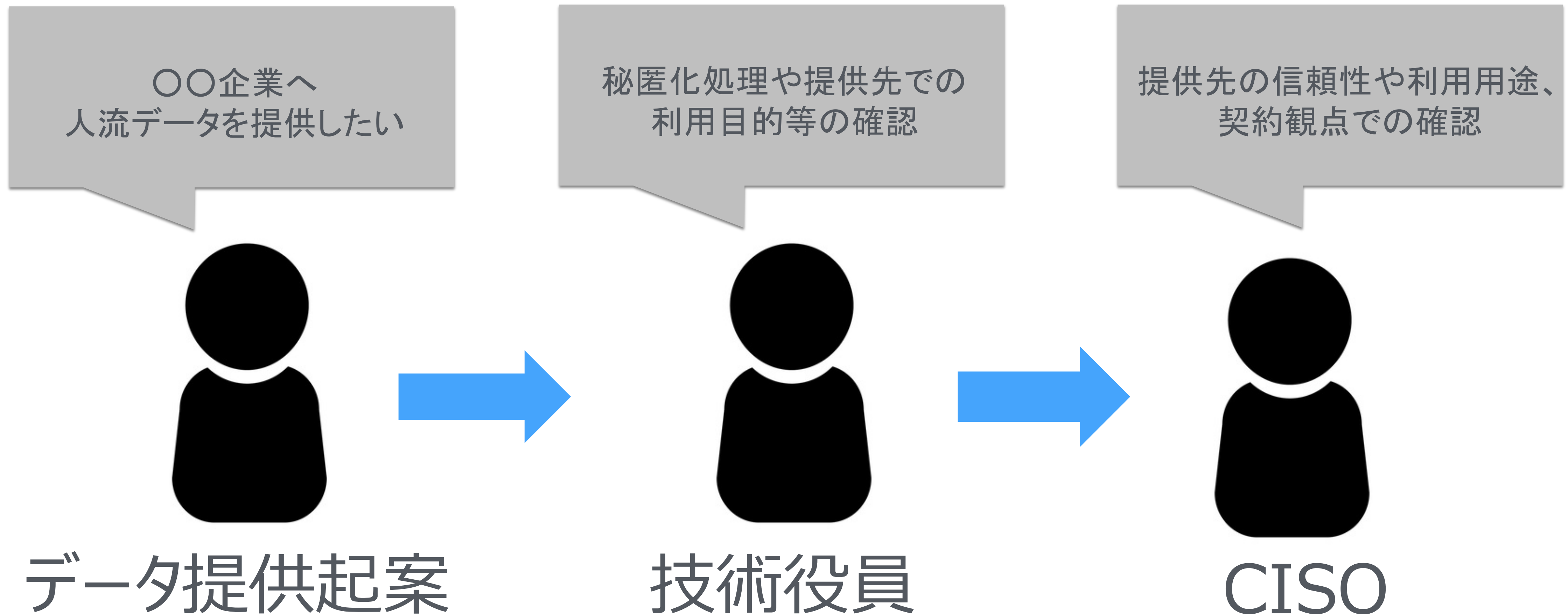
社内ルール

監査体制

データ取扱いに関する 社内ガイドライン	位置情報の利用(分析)に関するルールや禁止事項を ガイドライン化しデータに関する安全性を担保
データの外部提供時の 承認体制	データの外部提供時には最高技術責任者及びCISOによる承認 フロー体制を構築。技術面、セキュリティ面など様々な観点で チェックを実施
定期的な外部監査	Agoopでは3つの外部監査を毎年実施。Pマークによる 外部監査、SBグループでの子会社調査、LBMAによる 遵守監査等。
社員への教育体制	位置情報等の取り扱いに関するセキュリティ意識向上を目的に ガイドラインや情報リスクに関する教育を全社員に実施

外部提供時の社内承認体制

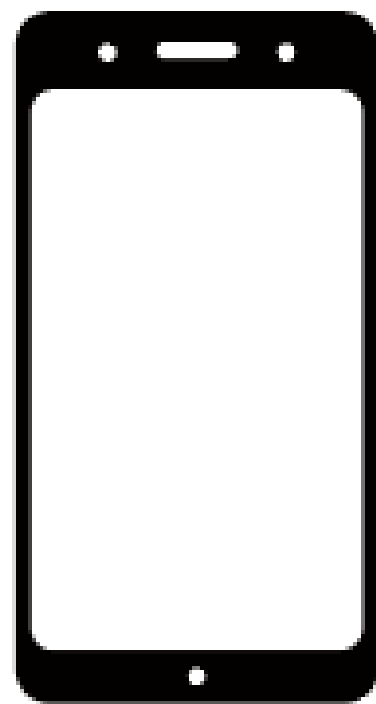
利用者情報の外部提供を行う際には、適切な加工や秘匿化、提供先での利用用途、契約条件などが適切かを判定する承認プロセスを導入しています。



PIA [リスク評価]

個別案件におけるPIA(リスク評価)を実施

収集データの
リスク評価



収集

分析内容の
リスク評価



分析

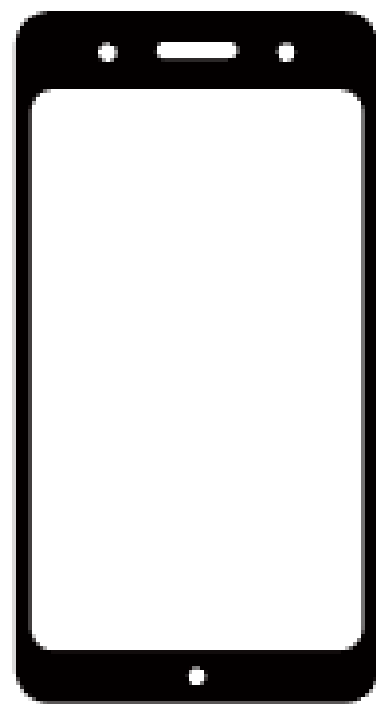
データ提供の
リスク評価



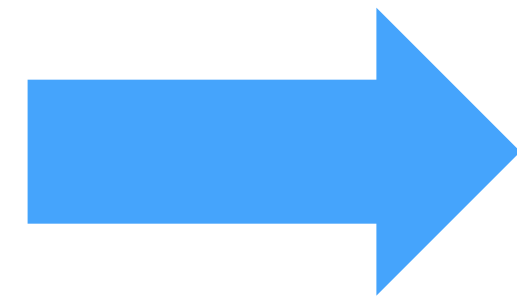
活用

まとめ

利用者情報(ビッグデータ)を活用する上で、
収集・分析・活用(価値化)のすべてのフェーズにおいて
情報セキュリティを担保する仕組みを意識



収集



分析



活用